

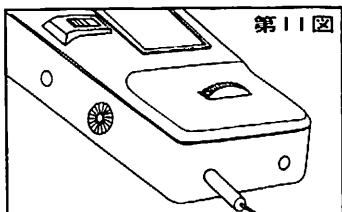
■抵抗測定法—黒色スケール

注 意

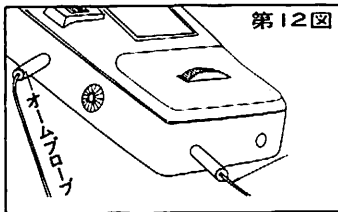
抵抗を測定する前に必ず回路を遮断して下さい。

電圧が誤ってかかった際メーターの損傷を防ぐためにオームプローブにヒューズがとり付けてあります。

1. 電圧測定コードの内赤又は黒の何れか一方を本器底面の左側の端子孔にネジ込みます。(第11図)
2. オームプローブのプラグを本器左側面のオーム端子孔にネジ込みます。(第12図)



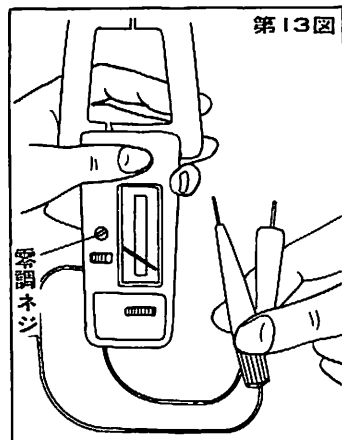
第11図



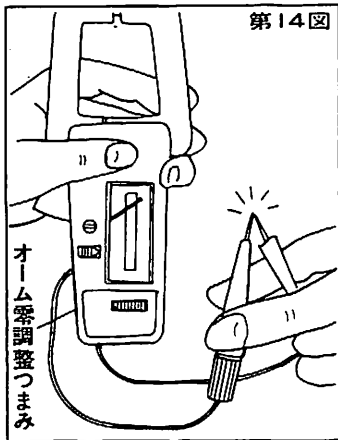
第12図

3. 「レンジスイッチつまみ」でスケール窓に 150 V のスケールを出して下さい。
4. 無限大位置の調整
電圧測定コードとオームプローブをオープンにした時指針は抵抗計スケールの“∞”を指示いたします。
必要ならば指針の零調ネジを使用して下さい。(第13図)

5. ゼロ位置調整
電圧測定コードとオームプローブをショートさせ(第14図)、本器左側面のオーム零調整つまみを回して抵抗計スケールの“0”に指針を合わせます。



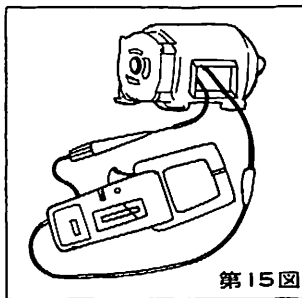
第13図



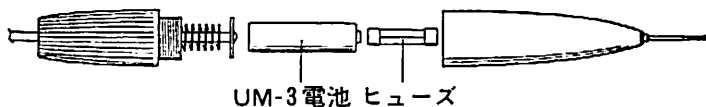
第14図

(注意) オーム零調整つまみを調整しても指針がゼロ位置迄振れない時にはオームプローブに内蔵されている電池を交換して下さい。

6. 測定は第15図のようにオームプローブと電圧測定コードの一本を使用して下さい。
7. 抵抗計スケールの読み方
抵抗計のスケールはスケール窓右側に表示されています。
ゼロ記号はスケールの一番上にあり、一番下には無限大の記号“∞”があります。
8. 電池及びヒューズの交換方法
オームプローブの構造はネジ込式になっていますので時計方向の逆に回すと第16図のように取り外せます。電池はUM-3をお使い下さい。



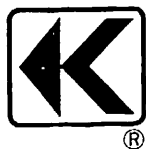
第15図



UM-3電池 ヒューズ

第16図

(注) ヒューズの規格：0.5A、消弧剤入り
ヒューズ交換の際は代理店にて御買求め下さい。



共立電気計器株式会社

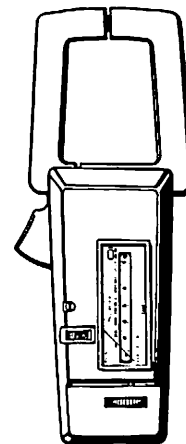
東京都目黒区中根2丁目5番20号/〒152
TEL (03)723-0131・テレックス 246-6703
工場/東京・愛媛・宇和島・埼玉

取扱説明書

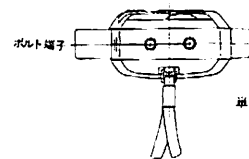
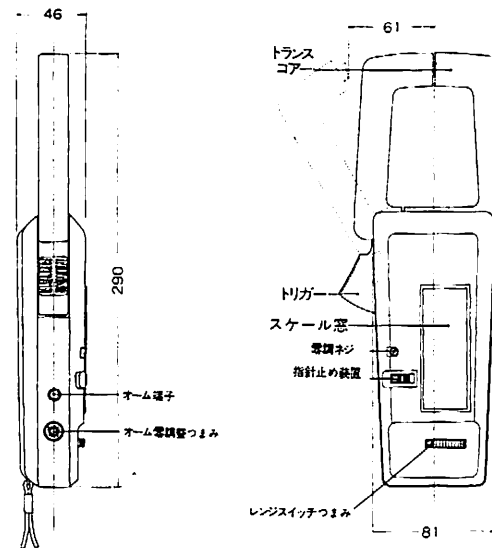
50/60Hz共通

交流電流・電圧・抵抗測定器

キュースナップ10
MODEL 2103



キュースナップ10は、その都度レンジ別に切換えられるダイヤルドラムスケールで行なわれるため読み誤りの心配がないクランプテスタです。回路を遮断したり、メータを接続したりする手間なしで、絶縁被覆の上から活線を挟むだけで正確に電流の測定ができます。
電気諸設備、施設のアフターサービス、保守、チェックに、或いはモーター、コンデンサ等の故障箇所をすばやく発見するのに重宝です。



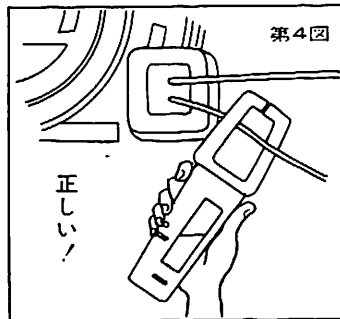
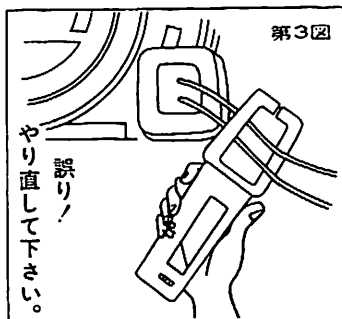
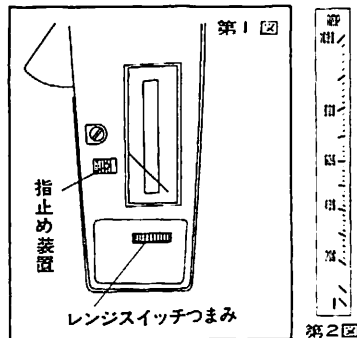
単位：mm

■電流測定法—全レンジ黒色スケール

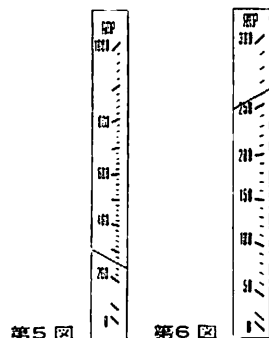
注意

電流又は電圧を測定する前にオームプローブが、本器に取り付けられていないことを確かめて下さい。オームプローブは5ページの説明のように本テスターを抵抗計として使用する場合にはのみ取り付けして下さい。

1. 「指針止め装置」を左に動かして指針が自由に振れる状態にして下さい。(第1図)
2. 「レンジスイッチつまみ」を回転させて電流の最高レンジ、即ち1000 Aをスケール窓に出して下さい。(第2図)
3. 本器左側面に突出している「トリガー」を押して「トランスコー」を開いて下さい。
4. 導線の一方をトランスコーではさみこんで下さい。トリガーを押している指の力を抜きトランスコーを閉じ指示値を読んで下さい。導線は必ず一本だけをはさんで下さい。(第4図) 二本はさむのは誤りです。(第3図)



5. 若し指針の振れがスケールの半分以下でしたら未だ読まないで下さい。(第5図)
6. レンジスイッチつまみを次の電流レンジに回し、指針がスケールの半分以上に振れるようになったら読みとって下さい。(第6図)

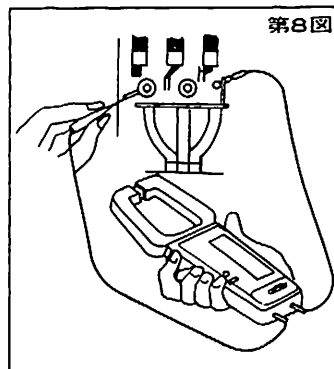
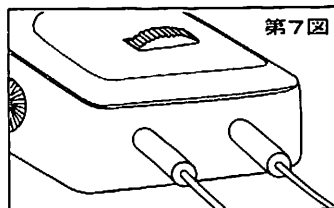


■電圧測定法—全レンジ赤色スケール

注意

2頁上部の通りに先づオームプローブを取外して下さい。

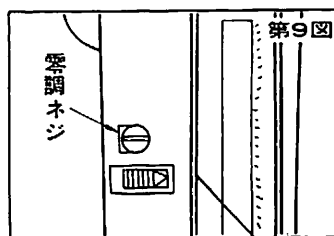
1. 電圧測定コードのプラグを第7図のように本器底面の「端子孔」に挿入して捻り固定させます。
2. 「レンジスイッチつまみ」を回転させて電圧の最高レンジ、即ち750 Vのレンジをスケール窓に出して下さい。
3. 電圧測定コードの赤・黒、何れか一方を被測定回路の一方につなぎます。次に他方の測定コードで回路の他端に触れて下さい。(第8図)
4. もし指示値が300 V以下の場合はレンジスイッチつまみを回して、300 Vレンジのスケールを出し、そのスケール上で読みとって下さい。



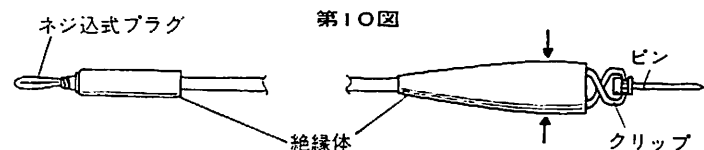
又 150 V以下の場合は同様な手順で 150 Vレンジに切換えて指示値を読みとって下さい。

ゼロ調整

最大の精度を得る為に指針はゼロ調ネジにより正しくゼロ位置にセットされていなければなりません。(第9図)



(注) 電圧測定コードは下記の構造になっています。絶縁体の矢印箇所を押すと先端のピンが外れますので、クリップして測定したい場合はピンを外して御使用下さい。



■仕様

| | | MODEL 2103 |
|----------------|--|-----------------------|
| 標準 範囲 測定 | 交流電流 | 10/30/100/300/1,000 A |
| | 交流電圧 | 150/300/750 A |
| | 抵抗 | 2 KΩ (中央値25Ω) |
| 精 度 | 交流電流 | 最大目盛値の±3%以下 |
| | 交流電圧 | |
| | 抵抗 | 目盛長の±3%以下 |
| 絶縁耐力 | AC 2,500V / 1分間 | |
| 被測定導体径 | 最大φ60mm | |
| 付属品 | 電圧測定コード 抵抗測定オームプローブ (0.5 Aヒューズ・UM-3電池内蔵) 携帯用ケース、取扱説明書 | |